

判定表は2種類(市全域のもの及び該当するゾーン区分のもの)添付してください。

田園・農村的利用ゾーン 景観形成基準適合確認判定表

届出者:株式会社 ○○○○ 代表取締役 ○○ ○○		適合確認者:株式会社 ○○○○ △△		
行為の場所:栃木市○○町○○番○		ゾーン区分:田園・農村的利用ゾーン		
項目	景観形成基準	適合確認欄	具体的な取り組み	適合判定欄※
配置	道路からの位置			
	周辺と壁面線を調和させるとともに、道路等の公共施設に面する壁面の後退等により、オープンスペースを設け、ゆとりある町並みを形成する。	✓	フェンスを後退させて配置し、スペースを確保することで、周辺と調和した景観を形成する。	
	周辺から壁面線を大きく後退させる場合は、門や塀、植栽等の設置により、町並みの連続性を途切れさせない工夫をする。	✓	該当なし。	
敷地内の配置				
	眺望を妨げない、景観に溶け込むような配置を工夫する。	✓	該当なし。	
高さ				
	個々の建築物等の高さは極力おさえ、周辺の田園景観や背景の山並みとの調和に努める。	✓	太陽光パネルの設置角度を10度とし、高さを2.4mに抑える。	
形態意匠	地域の特性と調和した形態意匠			
	屋根の形状や壁面の形態意匠は、集落に調和したものとする。	✓	該当なし。	
	地域の伝統的な建築様式等がある場合、その継承、一部での採用に努める。	✓	該当なし。	
色彩				
	遠望する山並みや周辺の田園景観から突出した色の使用は避け、田園や集落の景観に調和した色調とする。	✓	色彩ガイドラインに適合した仕上材料を使用する。	
素材	地域の特性を踏まえた素材の採用			
	周辺の自然環境等や集落と調和し、違和感のないものとする。	✓	反射の少ないパネルを用い、落ち着いた雰囲気を保つ。	
	光沢のある材料や反射の生じる素材を多用しないようにする。	✓	反射の少ないパネルを用い、落ち着いた雰囲気を保つ。	

全ての届出対象行為について適合確認を行ない、適合確認欄に✓(チェック)を記入してください。

適合判定欄※は、市が適合判定の際に使用しますので、何も記入しないでください。

(裏)

項目	景観形成基準	適合確認欄	具体的な取り組み	適合判定欄※
その他	付帯設備 屋外設備、屋上設備は、建築物と一体的なデザインとする等、道路等の公共空間からの見え方に配慮する。	✓	施設の設置範囲をフェンスで囲い、外部から直接見えにくくする。	
	付属施設 車庫や物置、倉庫等の付属物は、圧迫感を生じないようにし、周辺の景観と調和したものとなるように努める。	✓	該当なし。	
	緑化 個人住宅・共同住宅の建築に当たっては敷地面積の3%以上を緑化するように努める。	✓	該当なし。	
	上記以外の店舗・工場等の建築に当たっては、敷地面積の6%以上を緑化するように努める。	✓	該当なし。	
	敷地内に既存樹木がある場合、保存と活用に努める。	✓	該当なし。	
特筆すべき具体的な取り組み 低明度低彩度のパネルを採用し、付帯設備も一体感のある色彩とすることで、周囲の景観に配慮した。 <div data-bbox="188 1160 507 1317" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"><p>景観形成に基準に適合するため行った取り組みの中で、特筆すべきものを記載してください。</p></div>				

(備考)

1. 届出対象行為が、景観形成基準に適合しているか、確認をしてください。
2. 田園・農村的利用ゾーンの景観形成基準について、届出対象行為の適合確認を行ない、適合確認欄に✓(チェック)を記入してください。
3. 具体的な取り組み欄については、その景観形成基準に適合するため行なう取り組みを具体的に記入してください。
4. 特筆すべき具体的な取り組みの欄については、具体的な取り組みの中で、特に景観形成基準に適合するため行った取り組みについて、具体的に記載してください。
5. 適合判定欄※は、市が適合判定の際に使用しますので、何も記入しないでください。